

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年10月31日

保護者アンケート回収率 64.70%
保護者の評価欄は、回収分の占める割合です。

事業所名：Dream

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員の10名を前半・後半の2グループに分けて活動をしています。さらに活動内容によっては、部屋を分けて活動を行っています。	・はい…95.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…4.5%	年々児童の成長と共にスペース確保が難しくなっていますので、小グループ編成での活動や長期休暇中など合同行事の時には、戸外や広いスペースを確保して活動を展開していきます。
	2 職員の適切な配置	基準に基づいた人員配置を行っています。また、児童指導員加算、強度行動障害養成研修を受講した指導員の配置等、さまざまな特性の児童に対応できるように支援しています。	・はい…86.4% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…9.1%	今後も職員の適切な配置はもちろん、職員それぞれが、スキルアップを行いながら支援を続けていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的支援を活用することや環境設定についても整備するように進めています。また、コミュニケーション場面では、簡単な手話を使うなど障害特性に合わせた対応も行っていきます。	・はい…86.4% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…9.1%	利用児童の状況に合わせて環境設定や情報伝達方法を追求していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	サービス提供前には、業務チェックリストを活用しながら、漏れのないように清掃・消毒を行っています。また、感染症対策委員会において対策や対応方法を確認し合っています。	・はい…95.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…4.5%	今後も引き続き、感染症対策を心がけながら、誰もが清潔で、心地よく過ごせるように環境設定に努めます。また、その時々々の状況を踏まえながら、感染症対策について、子ども達とも考え、対策していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のミーティング、振り返りで支援ポイントを確認し、その結果を話し合いながら、毎月のスタッフ会議やケース会議をもち、全体で支援方針を話し合っています。	/		業務の役割分担を行いながら、それぞれの考えを日々のミーティングなどの場面で話しが出来るような雰囲気づくりに努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同法人の事業所で行われた事業所評価研修を参考に業務改善を行っています。	/		今後は、第三者評価を受け、業務改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内研修については、年間計画を基に毎月実施しています。外部研修についても情報提供を行い、参加を促しています。また、それぞれが研修を受けた内容を事業所内に持ち帰り、情報共有出来るようにしています。	/		事業所内研修は、年間計画に基づき取り組んでいきます。また、外部研修についても情報収集・情報提供に努めていきます。学習したことをスタッフ会議で報告やOJT研修として、事業所内にフィードバック出来るようにしていきたいと考えています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回面談(アセスメント)やモニタリング面談では、保護者や児童の思いを聞き入れ、課題になる部分を分析し、放課後等デイサービス計画作成を行っています。	・はい…95.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…0.0%	来所前のミーティングなどで、支援ポイントを確認し合いながら、統一した支援になるようにしていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントやモニタリングを進める中で見えてくる子どもの状況を協議し、個別では丁寧な関わりと子どもの気持ちに寄り添い理解に繋げています。そのことを踏まえ、集団活動中でのコミュニケーション課題などに注目した計画作成を行っています。	・はい…100% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…0.0%	今後も継続しながら、子どもの状況に合わせた個別活動や集団活動の提供を行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的な目標を設定し、支援内容や留意項目・支援機関などを記載していきます。	/		今後もより良い支援の充実を目指して、職員同士が意見を出し合い検討を続けていきます。
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者の同意をいただいた放課後等デイサービス利用計画を個別記録に添付し、計画内容を確認しながら支援できるようにしています。また、サービス提供前のミーティングでは、支援ポイントを確認するようにしています。	/		今後も保護者や関連機関との連携を取りながら、知りえた情報を事業所内で共有しながら統一した支援に努めていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	指導員リーダーを中心に季節の行事などに触れ、指導員の得意分野を活かしながら役割分担を行い進めています。スタッフ会議で計画案を出し合い確認・調整をした上で計画書を制作し、取り組んでいます。振り返りについても報告書でまとめファイリングしておくことで次の計画に繋がっています。	・はい…90.9% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…9.1% ・わからない…0.0%	年間計画を基に活動ごとの担当者を明確にししながら、プログラムを充実していけるようにしていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	コロナの状況も緩和される中、長期休暇中も平日と同様のプログラムで営業を行いながら、合同行事では、普段体験できない公共の場に出るようになってきました。	/		子ども達や保護者の意見も取り入れ、感染症対策も考慮しながら支援に努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本的な活動スタイルと地域行事や利用児童のニーズを取り入れながら、活動内容を検討しています。	・はい…100% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…0.0%	通常のプログラムを基本におき、子ども達のニーズや得意なことに注目しながら、達成感を味わえるプログラム作りを模索していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には、当日勤務職員全員でミーティングを行い、活動内容や役割分担、注意点について確認をしています。	/		職員間の情報共有を徹底し、業務にあたるように心がけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、振り返りの時間を設け、支援内容や利用児童の様子など気になる点を出し合い、工夫や改善に努めています。また、そのことを日報に記録し、勤務外の職員も確認できるようにしています。		気付いたことを言い合えるような環境づくりに努め、日報を活用し、記録にも残していきます。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の振り返りを基に、毎月行われるスタッフ会議で再度確認を行い、支援内容の検証・改善を行っています。		放課後等デイサービス計画の内容を把握し、それに基づいた支援・記録になるように日ごろのミーティングや会議の内容の充実に努めています。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ケース会議において事業所での児童の様子を確認した上で、保護者に説明しています。その際には、ご家庭や学校での様子を伺い、ご本人の成長や課題、ニーズについての聞き取りを行い、計画に盛り込んでいます。		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを定期的に行っていきます。また、期間内でも児童の状況の変化などによって支援内容の変更が必要な場合には随時見直しをしていきます。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校等と連携し、統一した支援が行われるようにサービス担当者会議には積極的に参加しています。そこで知りえた情報を事業所内に持ち帰るように努力しています。また、ケースに応じ、日ごろから相談支援員とのやりとりも密に行うように心がけています。		今後も継続して、サービス担当者会議には積極的に参加し、児童・保護者の状況を把握し、学校や相談支援専門員・関連事業所などとの連携をしながら統一した支援が出来るようにしていきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有				
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者との要望に応じて積極的に情報提供する体制を整えています。		ニーズに応じて積極的に対応していきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援協議会等に参加し、関係機関との連携に努めています。研修に関しては、情報収集に努め、職員間で研修情報を共有し、多くの職員の受講を促しています。		自立支援協議会への参加を継続し、関連機関との連携を取り、研修情報の収集した上で事業所内で情報共有し、参加を促進していきます。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障がいのない子どもと活動する機会の提供には、至っていません。公共機関の利用や作品展示などを通して、地域に開かれた事業所を目指しています。	・はい…45.5% ・いいえ…4.5%	・どちらともいえない…18.2% ・わからない…31.8%	今後も公共の場での作品展示などを行っていきます。直接交流については、保護者や児童のニーズを確認しながら検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍の影響で取り組むこと出来ていません。地域の清掃活動やフードドライブ活動などを通して地域活動に貢献しています。		地域に開かれた事業所となるように積極的に地域行事に参加していきます。	
保	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容や料金負担額については、重要事項説明書に記載し、契約時に読み合わせを行い説明しています。また、行事等で自己負担が発生する場合は、事前に連絡するようにしています。その他、保護者からの問い合わせについては、その都度丁寧に回答するように心がけています。年度初めには、保護者会を開催し、一年のまとめをした資料を作成し配布しています。	・はい…95.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…0.0%	今後も継続して、丁寧な対応を心がけていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月ごとに行っているモニタリング・支援計画面談時に説明を行っています。	・はい…100% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…0.0%	今後も継続して、丁寧な対応を心がけていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	モニタリング時や日々の送迎、連絡帳等、保護者の子育ての悩みや困りごとなどをお聞きして整理しながら、一緒に考えています。事業所での関わり方や対応等をお伝えしたり、場合によっては、本人も交えて解決策を相談するような場の提供も行っています。	・はい…72.8% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…13.6% ・わからない…13.6%	今後も継続して実施していきます。また、学習会も計画し、保護者も職員も共にスキルアップし、児童を支える力が身につくようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容			
護者への説明責・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の様子は、連絡帳や送迎時にお伝えするように心がけています。また、モニタリング時には、家庭や学校での様子もお聞きし、本児の様子を再確認しています。気になることや変更事項がある場合には、随時、電話連絡や事業所で開設しているラインを利用し、タイムラグを少なく共有するようにしています。	・はい…90.9% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…9.1% ・わからない…0.0%	今後も引き続き、保護者と共通理解できるように取り組んでいきます。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳、面談の機会に実施しています。相談事項など保護者からの情報を職員間で共有できるように振り返りやスタッフ会議などで報告し、適切な対応を相談しています。また、必要に応じて相談支援専門員等と連携し、対応できるようにしています。	・はい…95.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…0.0%	今後も保護者の思いに寄り添い、丁寧な対応に努めていきます。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は、7月に保護者会兼学習会(保護者向け)を行いました。保護者同士の連携支援には至っていません。	・はい…81.8% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…9.1% ・わからない…9.1%	保護者のニーズを確認しながら、保護者同士の連携が深められるよう、開催方法を検討していきます。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・接遇対応についての事業所内研修や苦情・相談マニュアルを作成し、迅速かつ適切に対応できるようにしています。契約時には当該施設以外にも行政機関を含めた苦情窓口を保護者にお伝えしています。	・はい…81.8% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…13.6%	今後も対応体制を整備し、契約時だけでなく保護者会等で周知できるようにしていきます。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言語での支援だけでなく、文字や手話など個人に応じた伝達方法を取り入れながら、意思疎通や情報伝達に務めていきます。保護者への連絡は、連絡帳やお便り、電話やラインを利用しながら情報提供を行っていきます。	・はい…86.4% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…4.5%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的には、ICT化も視野に入れ検討していきます。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用日には、連絡帳にて活動内容や本児の様子をお知らせします。また、月1回発行のお便りでは、活動の様子を写真を入れてお伝えしたり、今後の行事予定等の情報提供も行っています。	・はい…100% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…0.0%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的には、ICT化も視野に入れ検討していきます。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に重要事項説明書の中で確認しています。また、個別支援計画の中でも記載し、確認を行っています。職員にも周知しています。	・はい…90.9% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…9.1% ・わからない…0.0%	今後も個人情報の取り扱いには、十分に配慮し対応していきます。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症対策の部分は、新型コロナウイルスのことも踏まえ、一部改正を行い、各種マニュアル策定を行い、事業所に設置しています。また、職員研修の場なども設け、周知を行っています。保護者への発信については「子どもたちの安心・安全の為に安全マニュアルご家庭・事業所相互掲示板」を保護者会資料に添付し、配布しており、それを見て確認しながら事業所利用していただくようお願いしています。	・はい…86.4% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…13.6%	今後も継続して周知徹底に取り組んでいきます。また、社会情勢に応じ都度マニュアルを見直し、周知出来るように取り組んでいきます。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1月には地震、8・9・10月には火災・水害に関する訓練や研修を実施し、様々な災害に対する理解や対策に利用児童と共に取り組んでいます。また、BCP対策準備にも取り組んでいます。	・はい…86.4% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…0.0% ・わからない…13.6%	今後も様々な災害に対応できるよう、多様な災害を想定し訓練を実施していきます。子ども達とも学習し、考える機会を作っていきます。
		3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止・身体拘束適正化委員会を年4回計画し、事業所内での支援のあり方を検討し、適切な支援が行えるように取り組んでいます。			今後も虐待防止・身体拘束適正化委員会を中心に研修に取り組み、全職員が意識をもって適切な対応が出来るように取り組んでいきます。
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議等で事例を検討し、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に十分に説明をし了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載するようにしています。			今後も身体拘束の必要性を慎重にケース会議で検討・見直しを行いながら丁寧に取り組んでいきます。	
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時や保護者との面談時などに定期的にアレルギー等の有無や薬の飲み合わせ・対応策等の確認を行っています。また、保護者に確認の上、処方箋のコピーを頂くなど職員に周知しています。アナフィラキシーショックを起こした時の対応についてもエビペンの使い方の喧騒をしています。			今後も保護者と情報共有しながら、個別の緊急マニュアルを更新するなど、安心して通所出来るよう対応していきます。	
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には、振り返りやミーティング時に職員間で共有、また、スタッフ会議で月間事例を振り返り、改善策の確認を行い、事故に繋がらないように気を付けています。ヒヤリハット事例は、事例集にまとめてファイリングしています。年間を通して集計し検証するようにしています。			今後も安心安全な環境を保つことが出来るように研修を継続し、ヒヤリハット集を更新し取り組んでいきます。	
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	長期休暇中の行事などは、子ども達のニーズを取り入れながら計画を進めていきました。また、季節の行事などにも触れながら、活動を展開しています。	・はい…72.7% ・いいえ…9.1%	・どちらともいえない…18.2% ・わからない…0.0%	子ども達のニーズを取り入れ、「やってみたい!」ことをかなえるためには、何が必要で何をしなければいけないのかを一緒に考え、取り組んでいきます。	
	2	事業所の支援に満足しているか	子ども達の言動や様子を観察しながら、気持ちに寄り添い、スモールステップの成長を認め、達成感に繋げるように支援しています。学校などで抱えている困り事など、自分の気持ちを素直に伝え、解決の糸口に繋がればという思いで支援しています。	・はい…95.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない…4.5% ・わからない…0.0%	子ども達のストレスに着目し、より良い支援体制を目指して職員の支援力向上を目指します。	